

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 9 月 23 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
留学（渡航）した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 8 月 27 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニアバークレー校（日本語名） University of California, Berkeley（現地言語名）
現地使用言語 / 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2025 年 5 月～2025 年 8 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名 日本語名： 現地言語での名称： ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他：
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他：
学年暦 ※記入例： 1 学期： 4 月上旬～7 月下旬 2 学期： 9 月中旬～2 月上旬	1 学期： 5 月～8 月 2 学期： 3 学期： 4 学期：
学生数	45,000 人
創立年	1868 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨＝ 150 円)	B 日本円	備考
授業料	6,963	1,039,054 円	10 単位
宿舍費	7,380	1,101,280 円	
食費	500	74,620 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	45	6,715 円	
現地交通費	100	14,930 円	(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	500	74,630 円	
旅費 (留学中)	1,000	150,000 円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	260	38,800 円	形態：
渡航旅費	688	102,700 円	
ビザ申請費	180	26,900 円	
雑費	200	29,850 円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	3,473 (=2,659,479 円)	2,659,479 円	
総計 (A+B) ※円		2,659,479 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入し

ください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地： ICN 目的地： SFO 経由地：

復路 出発地： JFK 目的地： ICN 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社： Korean Air

料金： KRW968,000

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：

料金：

復路 航空会社：

料金：

∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店（店名： ）

☒ インターネット（サイト名： Korean Air 公式サイト）

☐ その他（ ）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎等）

☒ 学生寮（寮の名前： I-house）

☐ アパート

☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋（同居人数 ）

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン（☐ 自炊可 ☐ 自炊不可）

4) 住居を探した方法：

以前留学をしていたか方々の留学報告書を参考にしました。

5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

国際寮で世界各国の学生が住んでいました。また RA 主催イベントも色々開催されて、寮で交流し友達を作る機会は多かったです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例：現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所：)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等：)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

夜に1人で外出しないようにしました。幸い盗難などの犯罪もありました。大麻や麻薬を使っている人がいるため治安はあまり良くないと感じました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

Mint Mobile という会社でe-simを購入しました。大学内や寮にはWi-Fiがあったので、基本的にネットのある環境ではWi-Fiを利用していました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？

(例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードと現金を併用して使用しました。姉がアメリカで留学していたので、姉のカードも使いました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

スキンケア用品コンタクトレンズ、薬を持っていくことをおすすめします。特に非常用の薬は十分に準備するのが良いと思います。また、日本のお菓子を少し持っていくのも良いです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払いました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入）

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません（理由： ）
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他（ ） ☐ 履修の制限があった：	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Hass school of business
履修期間	session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義・ディスカッション・プレゼンテーション（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brady
授業内容	基本的なマーケティング用語や概念の理解から始め、定量的・定性的なマーケティング手法とビジネスという環境の中でのマーケティングの役割を学ぶ
試験・課題等	ライティング課題 3 つ（個人ワーク 2 つ・グループワーク 1 つ）、グループによるケーススタディプレゼンテーション、MCQ（Multiple Choice Question）タイプの試験
感想を自由記入	マーケティング用語や概念は基礎的なものが多かったのでマーケティングの応用知識習得を目的とした場合、少し物足りなさを感じた。ゲストレッチャでは実際の企業人の話を聞き、キャリア形成について具体的に考える機会を得た。

履修した授業科目名（留学先大学言語）		履修した授業科目名（日本語）
Introduction to International Business		国際ビジネス概論
科目設置学部・研究科	Hass school of business	
履修期間	session D	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義・ディスカッション・プレゼンテーション（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回	
担当教授	Daniel Alan Himmelstein	
授業内容	海外でビジネスを行う際の環境的・経済的・政治的・社会的制約、海外投資が国内外経済に与える影響、外国市場の分析と企業の経営戦略、国際的な事業運営における経営上の課題と発展の可能性について学ぶ。	
試験・課題等	2 回の課題と中間・期末レポートがあり、その課題をもとにグループプレゼンテーションも行った	
感想を自由記入	授業は教授が一方的に話す形式で進められた。専門用語を学び、さまざまなビジネスケースを研究することができた。試験はなくレポート提出のみであったため、授業についていくことはそれほど難しくなかった	

履修した授業科目名（留学先大学言語）		履修した授業科目名（日本語）
stress and coping		ストレスとコーピング
科目設置学部・研究科	Psychology	
履修期間	Session D	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回	
担当教授	Andres G Martinez	
授業内容	ストレス、ストレス管理、心理的幸福に関連する心理学の理論的および経験的研究を検討する。生物学的、社会的、人格的、認知的、感情的、臨床的な側面からストレスをコントロールする技術と知識を学び、心理的な幸福感を最大化する方法について科学文献を基に考察する。	
試験・課題等	リフレクションペーパーの課題、MCQ 形式の試験（2 回）	
感想を自由記入	授業で学んだストレス対処法を実際の生活に取り入れることができた。課題も試験も比較的簡単だったので、リラックスして授業に臨むことができた。心理学の授業は初めてで、用語が難しいのではないかと心配したが、思ったより問題はなかった。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
Successful Job Search and Interviewing skills	成功する就職活動と面接技法
科目設置学部・研究科	
履修期間	session D
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	online（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Margi Wald
授業内容	学生は仕事探しやネットワークづくりに必要なコミュニケーション力を身につけます。また、自分の希望する仕事に関するスキルや言葉を学びます。授業では、面接の練習や自己アピール、ネットワークづくりを行い、自分の履歴書やカバーレターを作成します。
試験・課題等	毎週講義を聞き、それに関する課題を提出しました。履歴書を作成したり、模擬面接を受けたり、カバーレターを書く課題がありました。
感想を自由記入	実際に使える履歴書を作成し、先生からさまざまなフィードバックをもらうことができました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他：

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。

内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。

就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

希望する業界は外資系企業、職種はマーケター

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)

就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。

ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

（例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等）

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	言語試験の準備
	10 月 ～ 12 月	資格取得
留学開始年	1 月 ～ 3 月	ビザ申請、授業履修登録、航空券購入
	4 月 ～ 7 月	留学
	8 月 ～ 9 月	留学
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

バークレー大学は世界的に有名な名門大学の一つであり、公立大学の中では世界最高水準を誇っています。このような大学で学ぶ機会は私にとって非常に貴重なものでした。さらに、カリフォルニアは一年中気候が良いため、留学をためらう理由はありませんでした。今回の留学を通じて数多くの新しい経験をし、世界の見方を大きく広げることができました。そのため、もし留学を迷っている人がいるなら、私は強くおすすめしたいと思います。

私は留学を通じて、多様な文化を学び、積極性を養い、他者に貢献できる喜びを学びました。さらに、専門的な授業を通じて知識とスキルを身につけ、将来のキャリアへの道筋を描くことができました。何よりも、この経験を通して挑戦する勇氣と自分は成長できるという確信を得られたことが、最大の成果でした。最初は教授の言葉が理解できず混乱したり、一日中英語を使って疲れ果てたりすることもありました。しかし時間が経つにつれて適応し、少しずつ英語力が向上し、自分なりの対処法も身につきました。今回の留学は、大事な機会になりました。